

テーマ 「小泉八雲」

小泉八雲は、「雪女」「耳なし芳一」などを収める『怪談』の著者として有名です。本名をラフカディオ・ハーンといい、1850年にギリシャで生まれました。八雲は日本の人々や文化に惹かれ、特に日本の古い伝説や奇談に強い関心を持っていました。今回は、小泉八雲を知るための本をご紹介します。

『ヘルンとセツ』

田淵久美子 著
(NHK出版)

日本にあこがれ来日したラフカディオ・ハーンは、英語教師「ヘルン先生」として松江の尋常中学校に赴任。身の回りの世話をしてくれていたセツが語る怪談にハーンは興味を持ちます。



『かくも甘き果実』

モニク・トゥルン 著
吉田恭子 訳(集英社)

ラフカディオ・ハーンの母親ローザ。最初の妻アリシア。二番目の妻小泉セツ。三人の女性が語ることによって、そこにいない「小泉八雲」を幽霊のように浮かび上がらせます。



『怪談小泉八雲のこわ〜い話』

小泉八雲 原作
高村忠範 絵・文(汐文社)

小泉八雲の『怪談』から三編を掲載。病で死の床にある妻に、「金輪際、絶対に結婚はしない」と誓った夫でしたが、妻の死後に新たな妻をめとることになり、やがて屋敷に奇妙なことが起こり始めます。



読書にまつわる〇〇〇

ブック&サイエンスフェス

秋の陽だまりが心地よい季節、10月19日(日)に開催される「ブック&サイエンスフェス」は、読書の楽しさと科学の面白さを一堂に集めた体験型のイベントです。多彩なプログラムを軸に、誰もが気軽に「読書」と「科学」の世界を楽しめます。プログラムの一部をご紹介します。

「対話選書」

ブックコーチとの対話を通じ、Aの分析があなたの好みを読み解き、ぴったりの一冊を提案。思いがけないジャンルや著者と出会う喜びは、新しい読書の扉を開くきっかけになるはずです。

「絵と音楽とお話と」

素敵な絵とピアノの演奏、朗読の組み合わせは、見る人を新しい感覚で味わう名作の世界に誘います。言葉、そして音と絵が奏でるリズムを通じて、文学の魅力を体感してください。

「ウィキペディアの元管理者が教える科学と本とインターネット」

科学の本を読み解く際の視点や情報の取り扱い方を、元管理者の経験に基づいて分かりやすい解説とワークシopp形式で伝えます。

※いずれも申込終了の場合があります。図書館にお問い合わせください。

※イベントの詳細は市ホームページをご覧ください。

HP 1009046



土岐市図書館 ☎55-1253

11月の休館日

10日(月)、17日(月)
28日(金)
※変更があった場合は、
図書館HPやX(旧Twitter)
でお知らせします。

開館時間
▶火～金曜日
10:00～19:00
▶土・日曜日、祝日
10:00～17:00

移動図書館 11月のスケジュール

▷下石・妻木公民館 13日(木)、15日(土)、27日(木)
※15日(土)は妻木公民館のみ
▷鶴里・曾木公民館 6日(木)、20日(木)、22日(土)
▷駄知公民館 13日(木)、22日(土)、27日(木)
▷肥田公民館・教育支援センター 7日(金)、21日(金)
▷泉・泉西公民館 14日(金)、28日(金)
▷ウエルフェア土岐 7日(金)、15(土)、21(金)
※詳しくは市ホームページをご覧ください。



HP1009204